

おかやま SDGs アワード 2020 募集要綱

1. 趣旨

岡山という地域に根ざし、SDGs(※1)を合言葉とした、人々に活気を生み、持続的に生きるための課題解決につながることを期待される取組の推進を後押しするため、本アワードを通じて、岡山を持続的発展のための挑戦をしていく人材が集まる活力あふれる地域とすることを旨とするものです。

※1 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

2. 開催団体

主催：下記団体により構成される「おかやま地域発展協議体おかやま SDGs 研究会（以下「SDGs 研究会」という。）（※1）」

岡山経済同友会、岡山商工会議所、倉敷商工会議所、
岡山県、岡山市、倉敷市、真庭市、
中国銀行、
山陽新聞社、
岡山大学

共催：岡山 ESD 推進協議会

3. 募集内容

<対象>

岡山という地域に根ざし、SDGs を合言葉とした、人々に活気を生み、持続的に生きるための課題解決につながることを期待される取組(※)を対象としています。（企業または団体（以下「団体等」という。）による現在も実践中の活動を対象とします。）

※1 団体等 1 応募に限ります。

4. 応募書類の提出方法

募集要綱を確認のうえ、応募に必要な資料等を以下の応募先に電子メールで提出してください。電子メールを事務局が受信した場合速やかに受領メールを送信いたします。

(ただし、月曜日から金曜日(休日祝日を除く。)の17:15以降及び休日祝日の場合の受領確認は送信までお時間をいただく場合もございます。)

<応募締切>

令和2年9月30日(水) 17時までに下記事務局に必着で提出ください。

5. 表彰

1) 表彰内容

応募案件の中から、特に優良な取組について表彰を行います。

被表彰者には、記念品、賞金(5万円)を寄贈いたします。

なお、表彰に選ばれた団体等においては、表彰式等(※)への参加をお願いいたします。

また、表彰に選ばれた取組については、本SDGs研究会を構成する各組織等を通じて広報を行うと同時に、新たな連携等の支援を行います。

※今後の社会の状況によって判断することとなりますが、表彰式及び表彰された活動の発表を予定しています。

2) 表彰の時期及び公表

表彰は、年度内に1回行います。表彰・公表時期は10月から翌年2月の間とします。

3) 被表彰者の決定

SDGs研究会は、応募書類の提出があった者のうちから、選考により被表彰者を決定します。

4) 表彰の事務

表彰に関する事務は、SDGs研究会を組織する団体の協力を得て、おかやま地域発展協議体事務局において行います。

<応募及びお問い合わせ先>

おかやま円卓会議・おかやま地域発展協議体事務局

(岡山大学総務・企画部社会連携課)

〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号

Tel : 086(251)8855 Mail: gakuto@adm.okayama-u.ac.jp

※原則、メールによりお問い合わせください。

※電子メールの件名に必ず「おかやま SDGs アワード 2020 応募」と記載してください。

※データ容量が 5 MB を超えないようご注意ください。5 MB を超える場合、メールが受理できない可能性があります。容量が大きい場合は、添付ファイルなしで別途応募について電子メールを送信ください。

(※1)おかやま円卓会議・おかやま地域発展協議体資料

<http://okayama-association.jp/images/leaflet.pdf>

(参考)

○おかやま円卓会議

平成 28 年 10 月 1 日、地域社会の頭脳として、世界や国内情勢の動向に基づき、岡山の社会が対応すべき課題や解決方法について、高い視座から自由に意見交換を行い、各立場からビジョンを語り、共通軸を見出すことを目的として、岡山の英知を結集した「おかやま円卓会議」を設立。産官学金言が協働して、地域と教育、地域と医療、技術・環境、まちづくりの 4 つの分野に関する施策の検討を行うとともに、国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」※等も踏まえ、実践型社会連携教育活動等を通じた次代を担う人材の育成に努める。

(構成)

岡山経済同友会、岡山県商工会議所連合会、岡山県、岡山市、倉敷市、岡山県銀行協会、山陽新聞社、岡山大学

○おかやま地域発展協議体

平成 28 年 4 月 1 日、岡山の社会が対応すべき課題や解決の方向性、例えば各自治体・団体の総合計画・目標等を持ち寄り、共通理解を深め、多様化する諸課題の解決に向けて具体的なアクションプランを協議するために、岡山の社会を構成する産・官・学・金・言の組織や団体が英知を出し合い、一体となって、岡山の持続的な発展を支える知恵と駆動力の源となることを目的に「おかやま地域発展協議体」を設置。

(構成)

岡山経済同友会、岡山商工会議所、岡山県、岡山市、倉敷市、中国銀行、山陽新聞社、岡山大学

○おかやま地域発展協議体おかやま SDGs 研究会

産官学及び市民団体の連携によって、地域における SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) に関連する各種の問題に、学際的かつ業際的研究をはかり、地域の魅力や環境の維持、向上に資することを目的として設置。

(構成)

岡山経済同友会、岡山商工会議所、倉敷商工会議所、岡山県、岡山市、倉敷市、真庭市、中国銀行、山陽新聞社、岡山大学

(その他参考)

○**SDGs アクションプラン 2020**

2020 年版の SDG s 達成のための政府の主要な取組をまとめたもの

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/dai8/actionplan2020.pdf>

○**JAPAN SDGs Action Platform(外務省)**

SDGs に関する関係資料が掲載された HP

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

○**持続可能な開発目標 (SDGs) 推進本部**

持続可能な開発目標 (SDGs) に係る施策の総合的かつ効果的に推進するため政府が設置したもの

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/>

○**国際連合広報センター(2030 アジェンダ)**

国際連合による SDGs 関係 HP

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/